

## 地域と結ぶ

# 順天堂大学練馬病院ニュース

## 熊本地震の支援～DMAT派遣～

4月14日、16日に熊本で震度7の大地震が起こり、大変な被害を受けました。東京都からの派遣要請を受け、4月18日に当院のDMATが熊本に赴きました。DMATは医師、看護師、業務調整員で構成される災害派遣医療チームのことで、医療資機材、自分たちの分の食料、生活用品等も持参し、現地ですさまざまな活動を行います。現地では病院での診療支援、避難所・救護所などの調査、入院患者の他の病院への避難・搬送等の業務がありましたが、当院のDMAT隊員は熊本赤十字病院の救急外来の診療支援を担当しました。熊本赤十字病院の講堂に宿泊しながら4月19日、20日と救急外来の診療に従事し、21日に帰京しました。避難所で過ごす被災者や余震を恐れて車中泊を続ける被災者の診療を行い、地震後の急性期に活躍して疲労した病院スタッフを支援することで、直接的・間接的にもお役に立てたのではないかと思います。しかしながら、熊本では被災者の救済、復興に向けて様々な支援がまだまだ必要です。熊本が一日も早く復興することを願うばかりです。

当院は災害拠点病院として地域の皆様、そして日本国民の安全と健康のためにこれからも貢献してまいります。

救急・集中治療科 野村智久  
看護部 中村麻依子 坂本良子  
医療安全管理室 安部 健

地域の皆さまの  
心と身体のおアシスで  
ありたいと願っています。  
何なりと  
ご相談ください。



左から 安部、野村、坂本、中村

# 着任の挨拶

4月から赴任して参りました角田(つのだ)です。耳鼻咽喉科医として診療に携わって29年になります。この間に中耳炎や副鼻腔炎(ちくのう症)、扁桃炎などの皆さんになじみのある病気から、側頭骨悪性腫瘍、頭蓋底腫瘍、小児肉腫など非常に珍しい病気やその手術などを手がけてまいりました。まためまい診療専門医(めまい相談医、日本めまい平衡医学会専門医)として多くのめまい患者さんを診察してまいりました。



耳鼻咽喉・頭頸科 准教授  
角田 篤信

耳鼻咽喉科の扱う疾患は耳、鼻、のどの病気の他、耳下腺、甲状腺、咽喉頭の良性ならび悪性腫瘍から、難聴、めまい、声嘎れ、嚥下障害まで、非常に多くの方々と関係する診療科です。これまでの経験を生かして、患者さんにとってわかりやすく、質問しやすい診療環境作りを心がけています。少しでも多くの患者さんのお役に立つことができれば幸いです。耳・鼻・のどでお困りの際はどうぞお気軽にご相談ください。

今までは初診の受付は火・水・金でしたが、4月より、月曜日から金曜日まで予約がとれるようになりました。スムーズな診療を行うため、受診の際は事前に予約センターにてご予約をお取りになることをお奨めいたします。



# 専門・認定看護師を紹介します!

5B看護師 塩原 友紀

「専門・認定看護師」とはある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが日本看護協会より認められた看護師のことで、患者さんにより質の高い看護ケアを提供するために活動しています。現在練馬病院には、認定看護師 12 名、専門看護師 3 名がいます。

今回は脳卒中リハビリテーション看護認定看護師についてご紹介します。

脳卒中とは脳梗塞や脳出血・くも膜下出血などの総称です。全国で年間約 117 万人が発症しており、寝たきりになる原因疾患の第 1 位とされています。突然の発症により意識障害や身体の麻痺、感覚の障害、ことばの障害などを抱えてしまうことがあります。そのような患者さんに対し発症後早期から後遺症が最小限となるようケアや、回復過程に沿ったケア・リハビリテーションを行うことにより、患者さんの生活動作（歩く・話す・食事・排泄などを行うこと）の改善に努めています。また、患者さんにご家族が退院後もその人らしい生活を送ることができるよう他職種とともに支援しています。



リハビリテーションカンファレンスの様子  
患者さんにより良い医療を提供するために  
話し合いをしています。

認定看護師の目印です。  
みつけたら声をかけてください。



脳卒中リハビリテーション  
看護認定看護師  
塩原です。

今後も練馬病院の専門・認定看護師の活動をご紹介していきたいと思っております。

# 夏に流行するウイルス感染症とその予防について

小児科 五十嵐 成

## はじめに

夏に流行するウイルス感染症として皆様がよく耳にされるのは、「咽頭結膜炎(プール熱)」、「手足口病」、「ヘルパンギーナ」などの病名だと思います(表参照)。一般的に夏風邪としてひとまとまりとして説明されることも多いのですが、原因ウイルスとしてはアデノウイルスとエンテロウイルス(コクサッキーA群、B群、エコーウイルス)がほとんどです。症状の出現の仕方には個人差もあり、発熱が4-5日と長引く場合もあれば、発疹や咽頭痛のみのこともあります。



五十嵐 成

## 治療

基本的にはウイルス感染症のため、特効薬はなく、抗生物質も効果はありません。ウイルス感染症の重症化を予防するために抗生物質を投与することの効果がないことは、立証されております。それどころか、副作用が出現してしまうことや、重症疾患を見逃してしまうリスクにもなります。安易に抗生物質を飲むことはおすすめしません。安静を保ち口当たりのよい食事と積極的に水分を取らせるようにしてください。嘔吐が続く、意識状態がよくない、手足のしびれがあるなどの、脳炎や髄膜炎を疑わせる症状や、水分もとれない、元気がない、呼吸が早いなどの肺炎や細菌感染症の合併を疑わせるような症状が出現した場合は、医療機関を受診するようにしましょう。以上のことを注意しながら自宅で看護してください。名前のついている病名や‘感染症’といわれると動揺してしまいがちですが、基本的には自然と治ることの多い病気であると理解しお子さんによりそってあげてください。

## 予防

予防策としては、石けんでの手洗いを徹底することが最も効果があります。うがいや手洗いのほか、同じタオルや食器を使わないことも予防になります。おむつ交換などで便を扱ったときにも十分手洗いをするように気をつけましょう。免疫力を高めるためには、栄養バランスのとれた食事と十分な睡眠を心がけ、規則正しい生活を送ることも重要です。無理をしたときにお子さんがお熱を出すのは免疫力が落ちているからでしょう。

	咽頭結膜炎 (プール熱)	ヘルパンギーナ	手足口病
ウイルス	アデノウイルス	コクサッキーウイルス (それ以外にも多数のウイルス)	コクサッキーウイルス エンテロウイルス (それ以外にも多数のウイルス)
症状	高熱 (38℃以上) 4日前後 咽頭痛、結膜炎、下痢や腹痛を伴うこともある。	高熱 (38℃以上) 1～5日 咽頭痛、口の中に水疱ができる。	手のひら、足の裏、口の中やおしりに発疹発熱は伴わないことも多いが出る。出ても1, 2日程度。
写真			

## 最後に

十分に予防をしても感染してしまうことはありますので、動揺せずに対応し不安なことがあるようでしたら、医療機関で相談されるのがよいと思います。

それでは、夏をお楽しみください。



# 第1回全国病院レシピコンテスト

全国の管理栄養士らが病院食の美味しさをレシピで競う「第1回全国病院レシピコンテスト」において、当院栄養科の応募作品が多数受賞をしました。今後も皆様に喜ばれる給食を目指し努力してまいります。

## 『生活習慣部門賞』

金賞



あじのカレー粉焼き  
・きのこのフラン  
・ポテト海サラダ

銀賞



サバのレインボー焼き  
・春野菜の辛子和え  
・かぼちゃのピューレスープ

## 『乳和部門賞』

銀賞



ごますりNEW筑前  
・旬の野菜の和え物  
・かぶの酢の物

入選



だしがきいたロールキャベツ  
・トマトの和サラダ  
・水菜の辛子和え

## 練馬産野菜を使った 食事フェアの開催について

練馬区はおいしい野菜がたくさん採れる地域です。  
当院では今年度より練馬産の旬の野菜を給食に取り入れる日を  
“ねり丸フェア”と称し、献立に組み入れてまいります。

実施日:年4回 6月・7月・11月・12月

※ 6月は14日(火) 7月は19日(火)を予定



©練馬区

(栄養科 高橋 徳江)

# 「ぴのぴの」「みつばちねりま」開所1周年

当院 事業所内保育所「ぴのぴの」と病児・病後児保育室「みつばちねりま」は、4月1日をもって開所1年を迎えました。「ぴのぴの」を活用することで、多くの育休中職員の復帰につなげることが出来ました。また「みつばちねりま」では、体調が悪いお子さまを預かる難しさもありましたが、保護者の方から「このような保育室が出来てよかった」とお声をいただくことが出来ました。

どちらも練馬区民の方が利用できる施設です。子育てと仕事の両立のため、ぜひご利用ください。今後とも多くのお子さまの笑顔にあふれた施設を目指していきます。



【みつばちねりま】



【ぴのぴの】



当院では、患者さんや地域の皆さまにとって癒しの場所になれるよう外来にてコンサートを開催しております。

4月16日（土）に、ジャズピアニスト、作曲家である宮本貴奈さんに、当院看護師の幼馴染ということで演奏していただきました。100名を超える方々が、クラシックや映画音楽にジャズアレンジを加えた音色を楽しまれていました。



5月7日（土）には、当院 総合外科 春山医師によるコンサートを開催いたしました。白衣姿とは違い、落ち着いた佇まいでクラシックの名曲を弾く姿は華やかで、患者さんが花束を贈る素敵な場面もございました。

（総務課 戸崎 雄太）



当院は、



東京都地域医療支援病院、救急指定病院、  
災害拠点病院、大学附属病院として、

- ①重症の方 ②リスクの高い方 ③緊急の方
  - ④難病の方 ⑤不安定で変化の激しい方
- などの診療を優先しています。

落ち着いて安定している患者さんは、ご自宅や勤め先のお近くの  
「かかりつけ医」でご診療いただけますよう、お願いいたします。



皆さまへお願い

・31日以上長期処方ので安定した患者さんは、  
出来るだけかかりつけ医での処方をお願い  
いたします。



・「くすりはリスク」。7剤以上の多剤処方は出来る  
だけ少なくいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

なお、ご旅行や年末年始などで31日以上の処方が必要な場合には、  
遠慮なく主治医までお申し出ください。



Airway  
Breathin  
Circulat

順天堂大学医学部附属練馬病院 院長

